

|  |   |
|--|---|
| <b>オキサジアゾン・ブタクロール乳剤</b><br><b>デルカット乳剤</b>  | <b>取扱メーカー：</b><br>日産<br><br><b>原体メーカー：</b><br>バイエル、日産                           |
| <b>成分：</b> オキサジアゾン〔オキサジアゾリジン系 PRTR・1種〕…8.0%<br>ブタクロール〔酸アミド系 PRTR・1種〕…12.0%<br><b>その他 PRTR 該当成分：</b><br>キシレン〔PRTR・1種〕…39%〈36～46%〉<br>エチルベンゼン〔PRTR・1種〕…31%〈25～36%〉 | <b>性状：</b> 黄色澄明可乳化油状液体<br><b>毒性：</b> 普通物<br><b>消防法：</b> 第4類・第2石油類（非水溶性）・危険等級III |

### 【品目特性】 ……………

- 代かき作業時に原液で土壌混和処理を行える。
- トラクターに装着して代かきと同時に機械散布ができるので、散布時間を削減できる。
- 安定した処理層を適度の厚さに速やかに形成するので、無駄なく効果を発揮する。
- ノビエ、コナギ等の一年生雑草や、マツバイ、ホタルイ等に高い効果が長期間持続する。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

### 【使用上のポイント】 ……………

- 共通注意事項の5. 水稲除草剤散布 使用上のポイントを参照。
- クログワイ、コウキヤガラは発生期間が長く、遅い発生のものまでは十分な効果を示さないので、有効な後処理剤と組み合わせて使用する。
- 雑草害をもたらす栽培目的以外のイネの防除に使用する場合は、発生前が有効なので散布適期を失ないように散布する。また必要に応じて有効な後処理剤との組合わせで使用する。
- 散布は湛水状態でいい、薬液が十分拡散するように散布する。特に風の強い時には注意する。
- 手散布の場合は、容器を腰より下の高さで滴下する。

### 【薬効・薬害等の注意】 ……………

- 移植水稲に使用する場合
  - 散布後4日間は落水、かけ流しはしない。
  - 移植時に落水しないよう、代かき時に必要以上の水を水田に入れない。

- 共通注意事項の5. 水稲除草剤散布 薬効・薬害等の注意を参照。

- 適用作物（水稲）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

- いぐさに使用する場合

- 本剤だけでは十分な効果が得られない場合があるので、いぐさに適用のある薬剤と体系で使用する。
- 砂質土壌、腐植含量の少ない土壌では薬害を生じることがあるので使用はさける。
- 散布後7日間は落水、かけ流しはしない。

### 【安全対策上の注意】 ……………

- 噴霧器を用いた散布は絶対にしない。
- 散布時は保護クリームを使用する。
- 夏期高温時の使用をさける。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。
- 魚類に影響を及ぼすので、使用時は注意。
- 藻類に影響を及ぼすので、使用時並びに使用後も注意。
- 散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。



【適用と使用方法】 .....

| 作物名   | 適用雑草名  | 使用時期  | 10 a 当り<br>使用量                   | 使用方法   | 本剤の<br>使用回数 |
|-------|--|---|----------------------------------|--|-------------|
| 移植水稻  | 水田一年生雑草<br>マツバイ<br>ホタルイ<br>ヘラオモダカ<br>ミズガヤツリ<br>クログワイ<br>コウキヤガラ | 植代時<br>(移植4日前まで)                            | 500 <i>ml</i>                    | 植代時に原液のまま<br>散布し混和する。ま<br>たは、植代直後原液<br>のまま散布し、ただ<br>ちに整地板で均平作<br>業を行う。 | 1回 ※        |
|       | 水田一年生雑草<br>マツバイ<br>ホタルイ<br>ヘラオモダカ<br>ミズガヤツリ                    |   | 250 ～<br>350 <i>ml</i><br>(少量散布) |  |             |
| い ぐ さ | 水田一年生雑草<br>スズメノテッポウ  | 植付後～<br>スズメノテッポウ<br>3 葉期<br>又は<br>ノビエ1.5 葉期 | 300 ～<br>500 <i>ml</i>           | 原液湛水散布   |             |

※オキサジアゾンを含む農業の総使用回数：1 回

※ブタクロールを含む農業の総使用回数 ：移植水稻 2 回以内、いぐさ 1 回